

平成26年度

# 事業計画書

平成26年3月

公益財団法人ブルボン吉田記念財団

## 平成26年度事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行います。

### (1) 学資金の貸与又は給付

学力優秀でありながら経済的な事由等により修学が困難な学生に対する奨学援護。

目的：奨学事業を通じて、次世代を担うグローバルな人材の育成や公衆の教養の向上、心身の健全な発展に寄与する。

平成26年度計画

#### ①奨学金の貸与

4月分から毎月15日に親権者預金口座に振込む。

対象者	人員	1名当年間貸与額	年間貸与額
大学生	2年生以上 (59名)	月額 20,000 円×12 ヶ月=240,000 円	14,160,000 円
	1年生 (25名)	月額 30,000 円×12 ヶ月=360,000 円	9,000,000 円
	合計 83名		23,160,000 円

#### ②奨学金の返還

- ・平成26年3月卒業生を対象に、奨学金借用証書および返還予定書を提出指示。
- ・平成25年度以前の卒業生を対象に、奨学金の返還指示および諸通信の連絡。
- ・平成26年度返還額予測 9,614,000 円

#### ③第39回（平成27年4月進学）奨学生募集活動計画

- ・募集人員：大学生25名（新潟県出身者20名、山形県出身者5名）
- ・募集要項の発送 10月上旬  
対象校：高等学校105校（新潟県93校、山形県庄内地域12校）
- ・募集締切：平成26年12月
- ・第1次選考委員会：平成27年1月下旬
- ・2月上旬に選考結果を通知し、1次合格者のうち進学決定者を採用し、4月上旬に決定します。

### (2) 文化資料館、博物館、美術館等の設置、運営

文化資料館「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営。

目的：平成25年9月、新潟県柏崎市に開館した「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営とその企画事業において、ドナルド・キーン先生の執筆・翻訳・教鞭活動に関する資料の収集・展示を通じ、日本文化や日本文学のすばらしさを再発見する場を提供する。

本年度の「ドナルド・キーン・センター柏崎」関連の事業計画は以下の通りです。

#### ①ドナルド・キーン・センター柏崎の常設展示の運営

目的：キーン先生の今日までの歩みや仕事を常設展示し、来館者に日本文学を愛する

ドナルド・キーンという人間を知ってもらうと同時に、日本文学、日本文化の面白さ、素晴らしさを発見、認識してもらう。また、ニューヨークに存在したキーン先生の書齋を復元・展示して、90歳で日本人となったキーン先生の日本への愛を感じてもらい、日本と日本人を見つめ直す場とする。

- ・年間250日を開館し、7,000人の来館を計画。
- ・平成26年4月～6月のJR東日本「新潟ディスティニーキャンペーン」の展開に乗じ集客を図る。
- ・柏崎駅からのシャトルタクシー運行に協力し、JR利用者の利便性とポスター掲示による認知度を高める。
- ・雑誌または旅行社との連携により、柏崎や新潟県内の「食」や他の「観光スポット」を巡る観光企画を検証する。
- ・館内の展示サインを強化し、映像検索コーナーの利用率を高める。
- ・地元のボランティア（DKCボランティアチーム）を組織し、運営協力をいただくことで地域に密着し、愛される文化資料館としての地固めを行う。
- ・賛助会員制度の導入により、安定した運営体制の軌道化を図る。
- ・地元マスコミと連携した中長期的告知企画の実施。
- ・グローバル対応～展示ラベルの英訳の実施

## ②特別企画展の計画

目的：常設展示だけでは、伝えきれないキーン先生の多彩な文学研究の世界を、特別展示として紹介し、日本文学の魅力を、日本文化の素晴らしさを思い起こさせる一助とする。

平成26年度特別企画展

「ドナルド・キーンの直筆原稿が語る【日本文学を読む】近現代の主要な作家・詩人、49人の作家論と現代俳句論」

1971年11月から1977年6月までの66回にわたって雑誌「波」（新潮社）に掲載されたキーン先生の文学論の直筆原稿を前期と後期の2回に分けて、その雑誌とともに一同に展示します。直筆原稿を通して、先生の文学評論の世界と当時の作家の素顔、当時の日本文学の世界に思いを巡らせてほしいと考えています。

期間：前期～平成26年3月10日（月）～同年7月21日（月）

後期～平成26年7月25日（金）～平成27年12月25日（木）

この企画展には、下記の法人、団体からのご支援をいただき、開催いたします。

特別協賛	新潟日報社
協 賛	大日本印刷株式会社、株式会社新潟放送、株式会社新潟総合テレビ、株式会社テレビ新潟放送網、株式会社新潟テレビ21 石地シーサイドゴルフカントリークラブ、近藤産業株式会社
後 援	新潟県、新潟県教育委員会、柏崎市、柏崎市教育委員会
協 力	株式会社新潮社、株式会社ブルボン

### ③月間ミニ展示企画の計画

目的：キーン先生ゆかりの作家、日本文学に関する当センター所蔵の資料、書籍、絵画等を経費をかけることなく1階ロビーにて特集展示をし、2階へのメイン展示導入への足掛かりとする。

平成26年度計画

#### 月間ミニ展示企画案

特別企画展で取り上げる作家をテーマに月単位で展示。

月	テーマ	月	テーマ
6月	川端康成	10月	火野葦平
7月	谷崎潤一郎	11月	三島由紀夫
8月	安部公房	12月	西脇順三郎
9月	高見 順		

### ④講演会計画

目的：「ドナルド・キーン・センター柏崎」から発信される日本文化や日本文学の素晴らしさ、おもしろさをより具体的に公衆の皆様にお伝えし、理解して頂き、教養として身につけて頂く事を目的として開催する。

平成26年度講演会

#### 「ドナルド・キーン・センター柏崎」開館1周年講演会

センターの開館1周年を記念して、協賛社を幅広く募り、9月下旬に開催を予定。

- 工程：4月 実行委員会立ち上げ  
予算案の作成
- 5月 講演会内容(案)の作成→キーン先生へご提案、決定  
講演会企画書による協賛社募集
- 7月下旬 チラシ、ポスターの製作、配布
- 8月中旬 広告掲載
- 9月下旬 開催

### ⑤センター主催：定期セミナー計画

目的：ドナルド・キーン先生が永年にわたり、研究されてきた日本文学や造詣が深いオペラ等に関するセミナーを定期的で開催し、市民の文化意識の向上とともに、ドナルド・キーン・センター柏崎の永続性を高める。

平成26年度計画

#### 「オペラ講座」の開催

昨年、柏崎音楽協会のご協力を得て、10月、11月の2か月間にて3回の講座を開催。本年についても、キーン先生やキーン先生のご友人から寄贈されたオペラのレコードを取り上げ、開催する。

時期：8月～11月の3か月間にて3回の開催（11月にはキーン先生をお招きしての開催を検討）

協力：柏崎音楽協会（予定）

### ⑥学芸員による研究発表活動

- ・広報かしわざき「ドナルド・キーン・センター柏崎：コレクション紹介
- ・越後タイムス紙での「ドナルド・キーン「日本文学の歴史」を読む」への寄稿

### ⑦他団体主催のセミナー等への協力活動

目的：ドナルド・キーン・センター柏崎が有するキーン先生由来のコンテンツを市民の皆様には有意義に活用していただき、文化意識の向上に貢献する。

平成26年度計画

柏崎市教育センター主催「特別研修会」の開催

柏崎市内の小中学校の教員や一般市民を対象に、楽しく日本文学を学び、将来的には、学校教育の現場での活用をも視野に入れる。年2～4回の実施予定。

## (3) 文化・芸術・体育等に関する振興活動

目的：教育及び文化・芸術・体育等への振興に関する助成・協賛を行い、広く、教養の向上および心身の健全な発展に寄与する。

### ① 文化芸能・スポーツ振興に対する助成事業(公募)

目的：文化芸能・スポーツイベントへの助成を通して、次世代への継承や次世代の育成及び公衆の心と身体健康増進に貢献する。

平成26年度計画

- ・平成26年5月理事会にて検証としての給付事業を決定
- ・「助成金給付規程」(H25、5.22理事会承認)に基づき、選考委員の決定
- ・担当理事による助成金給付実施要項の作成
- ・理事会承認
- ・公募～選考
- ・理事会承認(11月)
- ・通達
- ・助成金の給付(新年度の4月)

\*本年度の事業においては、運営資金・運営要員の不足という実情から、当公益事業については、助成対象事業の決定までといたします。

## (4) 公益目的事業に関連する物品販売(収益事業)

当財団の公益事業における「ドナルド・キーン・センター柏崎」にて、センター専用のオリジナルグッズを制作し、センター内にて販売します。

販売商品

当センターオリジナルデザイン付きグッズ、図録の販売

当センターの専用ロゴ(キーン先生直筆)を印刷した商品の販売

キーン先生の著作本の販売の検討

## 目標値

購入者目標人数	1,400 人	(7,000 人×20% : 25 年度の購入者比率実績より)
事業収入目標額	1,680,000 円	(1,400 人×1,200 円 : 25 年度の 1 人当購入金額 実績より)

## (5) 管理部門の計画

- ① 公益財団法人としての規程類の整備等の基盤整備。
- ② 定期報告の仕組みの確立。
- ③ 「ドナルド・キーン・センター柏崎」の中長期にわたる運営計画の策定。
- ④ 安定した財団運営の為の事業資金の調達と資産の整備。
- ⑤ 理事会・評議員会、財団内部委員会との組織的な運営体制の確立。
- ⑥ 地元主導、地元への貢献体制の確立。
- ⑦ その他

上記の事業等を実施するにあたり、「平成26年度収支予算」は次項に記載。